

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第185号

発行日 2017年4月1日発行

あたり前の事をあたり前にする

皆さまこんにちは、社長の近藤です。先日、青年塾でお世話になっている上甲塾長のご紹介で、山形県で行っている「あたり前グランプリ」を教えてくださいました。これは「誰でもできるあたり前のことを、誰も真似できないほど徹底的に掘り下げ、思考しかつ追求と実行することが会社の底力を養う」というテーマのもと、山形県にある黒沼共同会計事務所様が自社だけでなく、「競い合いながらあたり前のことを徹底的に実践してみませんか？」とクライアントに働きかけ、グランプリと言う形になった素晴らしい取り組みです。詳しくはこちらをご覧ください。

(<http://kuronuma-ac.jp/html2/atarimae/>)

またそのご縁で山形県の某高校野球部の取り組みを撮影したビデオをいただきました。ここの取り組みは衝撃的で、高校生でそこまでやるかという内容でした。例えば、練習の後に落ちている野球ボールを拾い、それをカゴに入れて片付ける際には、すべてのボールの縫い目を合わせる徹底ぶりです。そしてここの監督は「あいさつは野球よりも難しい」と言って、高校球児に感謝する心やあたり前のことを大切にしている教育をしているとのことです。甲子園出場時にも、話題になった高校です。

弊社では、今月から3名の新卒者が新たに仲間になりました。3名の国籍は日本、ウズベキスタン、ケニアです。ますますメンバーが多様化する中でも、会宝産業の社員として大切にしたいことをまとめた「会宝人十ヶ条」というものがあります。その一条にあるのが、「あたり前の事をあたり前にする」という言葉です。しかしそのあたり前のレベルがこのままでいいのか？ もしくはどのレベルを目指しているのか？ 「あたり前グランプリ」や「高校生の取り組み」を知り考えさせられました。

光栄なことに、会社や朝礼を見学したいというお言葉をいただくことがありますが、社内の取り組みでもマンネリ化している部分があるようにも感じました。このような気づきを自分1人で得る事は簡単ではありません。4月は新たな出会いがたくさんある月です。いつも支えてくださる方に感謝の気持ちをしっかりと持ちながら、訪れる新たなご縁を大切にしていこうと強く感じた3月でした。

会宝産業株式会社 会宝人十ヶ条

一条、あたり前の事をあたり前にする

- 一般常識や礼儀、躰、そして思いやりの心などを有する者を会宝人と言う。
- ・日本一の心のこもった挨拶ができる
- ・和を尊ぶ
- ・時間を守る（五分前行動）
- ・頭髪、身だしなみを整える
- ・跡見癖をつける

～広報コーナー～キラリと光る存在に

今月は システム業務室 安部 勇汰 さんからコメントをいただきました！

● 今月の出番 ● システム業務室 安部勇汰さん

こんにちは。システム業務室の安部勇汰です。今月で入社してから1年が経ちました。あっという間の1年でしたが、学生時代よりもはるかに社会人として大きく成長することができました。

私は昨年11月に生産部からシステム業務室に部署移動になりました。会宝産業の命とも言える「KRA(Kaiho Recyclers Alliance)」に携わる業務をさせていただいております。主に不具合対応や新規要件追加などの対応です。

KRAとは、仕入から出荷までを一元管理しているシステムです。このシステムに携わる仕事というのは、すべての業務を知らなければいけません。また会社の経営方針と現場の声を上手く取り入れてシステムに落とし込んでいかなければなりません。これが非常に難しいです。はじめは分からないことだらけで戸惑いま



したが、みなさんの力を借りて少しずつ力がついてきたと実感しております。パソコンやシステムの知識はまだまだ浅く、日々勉強という毎日です。この気持ちを忘れず、常に「Try everything」の気持ちで業務を行っていきます。



農業の取り組み ～ 農業事業部より ～



新年度がスタートし、本格的な春の訪れも感じられる今日この頃、しあわせのトマト達も心なしかうれしそうです！

さて、1月の会宝通信でお知らせした「石川県羽咋市から発信する『食』の未来を共に考えるシンポジウム」が2月25日金沢市文化ホールにて、開催されました。県内外からお集まりくださった約700名の方と食の未来に思いを馳せることができました。参加者の方の多くが楽しみになさっていたのが、奇跡のリンゴで有名な木村秋則先生の講演です。「自然栽培が教えてくれたこと」というテーマでご講話をいただきました。自然栽培が人だけでなく地球環境にも好影響があることや、農業という産業がたくさんの可能性を秘めているというお話は目から鱗の連続でした。当社代表の近藤典彦も「農業を基軸とした地方創生にける夢」というテーマで農業事業に参入した経緯や、これから羽咋市で新たな挑戦をはじめめる決意をお伝えしました。

シンポジウム前日、木村秋則先生に会宝農園に足を運んでいただきました。案内役を務めた小職田中に対して丁寧なご説明とご助言をしてくださいました。今年度は、自然栽培に本格的に取り組んでいく会宝農園です。木村先生からいただいたご助言の実践やチームはくい（羽咋市様、JAはくい様、自然栽培に取り組む生産者様）の皆様と協働していくなかで、お客様にさらに喜んでいただける野菜作りに励んでまいります。（担当：田中）



☆歓迎会の贈り物にトマトギフトはいかがですか？
プレゼントとしても好評なしあわせのトマトはコチラからご注文ください！
【会宝農園インターネットショッピングサイト】 <http://agribalance.jp/>



社員海外レポート

From 
China

皆様こんにちは。国際業務部の李炳哲です。前回に続いて今月は中国の伝統のお祝いを紹介します。

【春節の飾り】 道路や建物、家のあちらこちらを赤で飾ります。「赤」は春節のメインカラーです。そしておめでたい色でもあります。赤い提灯を道路へ掲げ、入り口には赤い対句を飾ります。銀行や公共機関ではお金に恵まれるような新年の様子が描かれた写真が飾りつけられています。2017年は鶏年なので鶏にちなんだ飾り付けもされています。鶏のぬいぐるみや鶏の描かれた正月のものがあります。

【春節の食べ物】 春節に食べる食べ物は、食べ物の名前や形によって象徴的な意味のあるものがあります。

魚は中国語の「魚」の発音「Yu」と「余る」の発音が同じということから春節には欠かせません。魚を食べることで翌年にお金と幸運が余分に舞い込むと言われていいます。また春節に食べるものに餃子があります。餃子の形が銀塊の形に似ているからです。餃子を食べることで裕福な年になるようにとの思いが込められています。その他、春巻きや餅、餡入り団子などがあります。



今月のパチリ☆



こんにちは。新年度になり新入社員を迎えられた企業も多いかと思います。弊社は今年3名の社員が仲間入りをしました。日本人1名、ウズベキスタン人1名、ケニア人1名です。今でも外国籍の社員は3名いますが、更に国際色豊かになることが楽しみです。

一方、2018年3月卒業予定の新卒採用活動も既に始まっています。先月末には会社説明会を開催しました。学生に弊社の理念や方針、求める人物像を伝えて弊社について知ってもらうことが目的です。

就職活動戦線はここ数年売り手市場が続いていて、今年も引き続きその傾向です。新卒学生の採用は、企業側にとって厳しい状況が続いていますが、弊社の理念に共感し、未来を一緒に創り上げる気概をもった学生に出会えることを楽しみにしています。

(担当：松本)



相場情報 ～生産部より～

こんにちは。会宝産業の山口です。冬の寒さから解放されましたが、私を含め花粉症の方には辛い季節がやってきました。

さて、3月の相場はというと・・・電炉の生産が集中する3連休前までは国内の品薄感からか、鉄相場は上昇傾向にありました。関東・中部を中心にH2相場は3万円/トン台に乗りましたね。しかし、連休の電炉生産向けに鉄を仕入れる動きも一段落し、市場では先高観の解消も見られるようになってきました。

一方で、日本国内や米国では内需も回復してきており、夏季減産の時期までは相場を支える要因は有るようです。非鉄に関しては、銅が低調な荷動きとなっています。1月の中国銅スクラップ輸入が前月比16%減となり、スクラップ相場にも影響が出ているようです。アルミ関係はホイールが海外での値上がりによって200円/kgを上回る価格が出ている所も多いようですが、為替が円高に振れ気味なので不安要素も垣間見えます。



今月のトピックス

～ 書籍のおしらせ ～

弊社も取り上げていただいている書籍『実践的グローバル・マーケティング』が刊行されました。この本は「こうすれば海外事業展開で成功する!!」というテーマで、海外展開に必要なポイントなどについて、下記企業18社の事例を紹介しながら書かれた書籍になります。

弊社については、創業から今に至るまでのターニングポイントはどこだったか、3つのポイントを挙げて分析して下さっています。時系列で書いてくださっているので、とても分かりやすくご紹介いただいています。たくさんの方にお読みいただければ幸いです。(担当：佐藤)



■タイトル 『実践的グローバル・マーケティング』

■著者 大石芳裕

■出版社 ミネルヴァ書房

■定価 2000円+税

■紹介企業

エンジニア、ヤクルト本社、会宝産業、ヘッドウォータース、花王、ハウス食品、LVMH、日本電産、ダイキン工業、フマキラー、Jリーグ、コカ・コーラ、資生堂、コマツ、イトーヨーカ堂、ユニリーバ、IBM、マイクロソフト。(書籍掲載順)

会宝産業株式会社

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3

車両課 (車両引取り・査定)

TEL 076-237-5347 (直通電話ができました!)

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3

部品課 (部品注文/担当:大森・角島)

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp (担当:宮村)

